

☆季節を五感で感じるネイチャービンゴゲーム授業案

荒川夢クラブ

- 1 時間:60分授業
- 2 学習対象:小学生
- 2 場所:校庭や自然部分のある公園
- 3 目標:ネイチャーゲームにより五感を通して季節の変化や身近な自然を感じ取り、またビンゴ・シート使用でのゲーム感覚で自然を楽しく体感してもらおう。
- 4 時間配分:

講師の紹介とあいさつ・諸注意	5分
「季節をさがそうビンゴゲーム」の説明	5分
「季節をさがそうビンゴゲーム」展開	30分
ビンゴゲーム集約と振り返り	15分
まとめ	5分
- 5 授業展開:
 - ①学習の場所となった校庭や公園の危険な区域や立ち入らない区域等を注意し、この日のネイチャーゲームの説明後、開始する。
 - ②子供たちは班ごとにビンゴ・シートを持ち、移動しながら、力をあわせて季節を感じられる野鳥、昆虫、植物などの項目を30分間さがす。
 - ③班ごとにさがした後、再び集まり、みんなでさがしたものを検討する。その中で、さがしもの持つ意味、大切さ等を考えていく。
- 6 授業展開上の注意点:
 - ①「季節をさがそうビンゴゲーム」はビンゴゲーム自体が目的でなく、ゲームを通して子供たちが季節や自然を体で感じとり、楽しんでもらうことが大切である。
 - ②高学年は16項目の文字のビンゴ・シートでいいが、低学年は9項目の絵入りのビンゴ・シート・アレンジ版を使う。ビンゴ項目の中にゴミを入れて環境問題を意識させたり、高学年には難度の高い見つけにくいものを入れて差別化を計ったりもできる。
 - ③ビンゴのさがしものは、班ごと、クラスごとを基準にして動く。それに、ボランティア・スタッフ、先生がサポートする。
 - ④子供たちがなかなかさがしにくいようだったら、スタッフ、先生、保護者がヒントを与える。
 - ⑤さがしたものは、班ごとに袋に集めていく。
 - ⑥ビンゴ・シートは各班の班長の子供が代表して持つ。班の子供たちはさがしものが見つかるたびに班長に申告し、班長はシートのその項目に○で記入していく。
- 7 集約のしかた:
 - ①30分間、さがしたら、最初の集合場所に集まる。
 - ②先生、スタッフを中心にして、子供たちは班ごと、クラスごとに扇形に集まり、すわる。
 - ③進行役がさがしたものがビンゴとなっているか、班長だけ立たせて代表で一斉に確認させる。
 - ④ちゃんとビンゴができていたら、みんなで拍手。
 - ⑤授業の「ふり返り」は、「きょう、おもしろかった人は手を挙げて」「あまりそうでもなった人は」「先生とまた公園に来てみたい人は」「お父さん、お母さんとまた公園に来てみたい人は」というふう聞いていき、感想をまとめるかたちにする。
- 8 準備するもの:

荒川夢クラブ:ビンゴ・シート(夢クラブが作り、印刷は学校で)

学校:透明のビニール袋(さがしたものを入れる袋、班の分だけ準備)